

# せんだいアートアニュアルの5年間

せんだいアートアニュアルは、美術や映像など作品のジャンルを問わず、ひろく国内へ出品を募集し開催する公募展として2001年より2005年までの5年間にわたって開催されました。せんだいアートアニュアルはせんだいメディアテークにより、アートや映像に関する創作活動の裾野を広げ、多様な楽しみ方を提案する目的で企画・運営され、5年間で約4万（38,838人）の入場者を集めました。

各回それぞれに特徴的なテーマが設定され、2001年は「波紋」、2002年は「セルフポートレイト」、2003年は「私の隠れ家」、2004年は「Another Place：別の場所」、2005年は「至福のとき」というテーマのもとに、5年間を通じ1000点を超える、様々なジャンルの作品を展示してきました。期間中に行われた公開審査会では観客・出品者・審査員が作品を介して交流し、表現に対する意見を交換する場となりました。

傾向としては初年度こそ仙台市内からの応募が多かったものの、以後国内、特に首都圏からの応募が増え、最終的には仙台市外からの応募が30%を超えるようになり、仙台市内に限らず日本国内で認知と評価を受けている公募展と言えるようになりました。

さらに、2002年より2005年まで、グランプリであるsmt賞の作者には、翌年度にせんだいメディアテークにおける個展の権利が与えられました。過去に、2002年度受賞者 源間正彦個展「桃源郷は在る」および2003年度受賞者 菊池富美恵個展「世界に一つだけの花」が開催され、2005年度受賞者 村岡由梨個展「yuRi=paRadox～眠りは覚醒である～」が本展と並行して開催されています。

